

国

語

(六〇分)

答えはすべて解答用紙に書き入れること。

一

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

他の人にできないことができる人たちを私たちは「独創的」「創造的」と称賛し、「天才」はそういうことができる人だというイメージを持つ。他方「天才」というと生まれながらの天賦の才能を持ち、努力せずに人ができない独創性、創造性を持てる人のこと、というイメージも持ちがちなだ。

しかし考えてみると、超一流の達人の創造性のあり方は分野によってずいぶん違う。美術などでは過去になかったスタイルが創造的であると言われる。科学では、**A** 誰も センジンが発見していなかったことを発見した人を偉大で創造的な科学者という。しかし、音楽演奏、バレエ、能などのパフォーミングアーツでは、長い間、何千、何万というアーティストが同じ楽曲やプログラムを演奏、演技し続けている。このような分野では、楽曲の譜や指示に対して チュウジツでありながら、自分なりの解釈、自分なりの表現を探究し、自分のスタイルを作り上げることが求められる、自分独自のスタイルが「創造的」であると評価される。

創造性はもちろん芸術や科学の分野に限るものではない。スポーツにおいても、ビジネスにおいても、他の人には真似のできない自分独自のスタイルですぐれた判断、パフォーマンスをすることが出来る人は創造的な人である。

このように考えると、創造性は特別な才能を持った人が特別な分野で示す特別な能力ではなく、状況に合わせて自分独自のスタイルで問題を解決できる能力に他ならない。第4章で熟達者の最大の特徴は **X** であることと述べたが、創造性は **X** であることの延長線上にある。

NHKの「プロフェッショナル——仕事の流儀」というテレビ番組に出演する人たちは、みな非常に創造的な熟達者ばかりだ。例えば、ある回では、クレーンでコンテナを船に積む作業を行う、通称「ガンマン」と呼ばれる職業で抜きん出た存在の人を紹介していた。ガントリークレーンという超大型の特殊なクレーンで何トンもの鉄の箱であるコンテナをトレーラーから一つ一つワイヤーでつるし上げ、船の指定の場所に積み込んでいく。クレーンの操作をする場所は高さ五〇メートルの場所にある。床はガラス張りで、そこから五〇メートル下の **③** フナゾコを見ながら積み下ろし先にコンテナを積んでいく。

Y

このような **X** な対処は、**B** 熟練をベースにした創造的な問題解決そのものだ。長年の熟練により、いつもと違う状況で、いつもと同じことが通じないときに、他の人と違うモノの見方、捉え方ができ、別の対応を考えることができるのだ。逆に言う、何もないところから **C** まったく新しいものを生む創造性は存在しない。実際、多くの分野において創造的なパフォーマンスというのは、まったく存在しない要素を創り出すことではなく、**D** 存在する要素を今までにないやり方で組み合わせることから生まれるのである。

熟達者にはあることが素早く正確に安定してできるというレベルで留まるタイプと、それを打ち破り、常に新たな **④** キョウチを求めめるタイプがいるということを前に述べた。その分野で 超一流と目されている人たちはマンネリになることが最も我慢できないことであり、**E** **⑤** ブレークスルーを目指している。自分の時代に存在する最高の技術や知識を体に叩き込んだ上で自分の現状に課題を見つけ、自分なりのしかたで現状を乗り越え、向上を目指した結果として創造的と人が認めるパフォーマンスが可能になるのである。
⑥ 葛飾北斎が死に際に残したことばは「もう一〇年、いや五年の命を与えてくれたら、まことの絵師になれただろうに」だったそうである。北斎は七〇歳を過ぎて「富嶽三十六景」を完成させたときのあとがきにこのように書き残しているそうだ。

七〇歳以前に書いたものはまったく取るに足りないもの

七三歳で鳥やけもの、魚の **⑦** コツカクのなんたるかをいくらかは悟ることができる

このまま修行をつづけていれば一〇〇歳で神妙の域に達することができるだろう

一一〇歳までつづけられれば一点一画が生きているもののように描けるようになる

真に創造的な人たちは向上することへの挑戦を止めない人たちである。「**⑧** 創造性」は天から降ってくるものではない。

(今井むつみ『学びとは何か——探究人になるために』)

国語

【語注】

- (注1) 天賦 … 生まれたときから持ち合わせているもの。
- (注2) パフォーミングアーツ … 劇・ダンスなど、肉体の動きによって表現する芸術。
- (注3) 第4章 … すぐれた判断や行動を可能にする判断基準を持つことが、その人のすばらしい行動や思考を支えているといった内容。
- (注4) ブレークスルー … 困難や障害をつきやぶること。
- (注5) 葛飾北斎 … 江戸後期に活躍した浮世絵師。代表的な版画シリーズとして『富嶽三十六景』を描いた。

問一 ―― 部①～⑤のカタカナを、それぞれ漢字に直しなさい。(楷書で、ていねいに書くこと)

問二

A

E

 に当てはまる語として最もふさわしいものを、次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。なお、同じ記号は何度も用いてはいけません。

ア まだ イ まさに ウ すでに エ 一気に オ 常に カ 一緒に

問三

X

 には同じ四字熟語が入ります。ここに入る四字熟語として最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 四苦八苦 イ 完全無欠 ウ 大義名分 エ 一生懸命 オ 臨機応変

問四

Y

 に当てはまる文章の順番として、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- 1 この番組で紹介されていた達人は、世界平均の一・五倍の速さでコンテナを積むことができ、しかも、着地の時の衝撃を最小限にするためにコンテナを着地直前の空中でピタリと止め、そこからゆっくりと下ろしていくという、他人にはできない技を持っている。
- 2 番組中で最も印象的だったのは、思わぬ事態に見舞われた時の対処のしかただった。
- 3 コンテナを元の位置に戻すこともできず、傾いたままでは船に下ろすこともできず、前にも後ろにも進めない状況になってしまった。

4 その中で、コンテナを水平に戻すために、コンテナを壁に当てて揺らしてみたり、角のひとつをレールに当てながら、レバーで揺れを制御してみたりして、なんとかコンテナを水平にし、とうとうそのコンテナを船に納めることができた。

5 ある時、コンテナをつるすワイヤーの長さを調節する機器に不具合が起こり、コンテナが傾いてしまった。

ア 1↓2↓3↓4↓5 イ 2↓3↓4↓1↓5 ウ 5↓4↓1↓3↓2 エ 1↓2↓5↓3↓4 オ 1↓4↓2↓5↓3

問五 ……部1「超一流と目されている人たち」とは、どういう人たちですか。解答らんに合うように、自分で考えた本文にない別の具体例を加えた上で、八十字以内で説明しなさい。

問六 ……部2「創造性」は天から降ってくるものではない」とありますが、「創造性」とは、どのようにして身につけるものですか。本文全体をふまえて、百字以内でわかりやすく説明しなさい。

問七 本文の内容に最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 超一流の熟達者とは、一定の作業を素早く正確に安定して行うことができる人のことをいう。
- イ 独自のスタイルとは、未だかつてなかったものを組み合わせることで生まれたものである。
- ウ 科学の分野において、すでにあった実験をこなす人のことを「創造的」とであると述べている。
- エ 失われた技術を取り戻すことで新たな組み合わせを生み出すことが、「創造的」である。
- オ 葛飾北斎は自身の理想の姿を明確に思い描くことで、現状と比較し向上しつづけていた。

国語

二

末期がん患者である「私」は、がんの治療をあきらめ、瀬戸内海の島にある支援施設「ライオンの家」で余生を過ごしていた。「ライオンの家」には、入居者がリクエストした思い出のおやつを、他の入居者たちと一緒に味わう「おやつの時間」があり、おやつを食べる前には、そのおやつに関する思い出をつづったリクエスト文が職員によって読み上げられる。次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

いつものように、みんなの前にマドンナが立ち、リクエストを朗読する。花粉症なのか風邪なのか、マドンナはいつもより鼻声だった。

「学生時代に知り合いに頼まれて詞を書いた歌謡曲がいきなり大ヒットして、そこからはずっと、先生と呼ばれる人生を歩んできた。自分の人生には逆境などひとつもなく、常に追い風が吹いていた」

先生だ。先生が書いた文章だ。マドンナは続けた。

「そんな自分が、いきなり癌になった。青天の霹靂だった。病気が治らない段階のものとわかったとたん、^① 周りにいた人間が蜘蛛の子を散らすように離れていった」

「それは、自分のせいです」

私は言った。今まで、そんなことをしたことは一度もない。けれど、勝手に口が動いていた。

マドンナが、私を見て、大きく頷く。マドンナの朗読を中断してしまったことに気づいて、ごめんなさい、と謝った。それからマドンナは、心をしずめるように一度深呼吸してから、何事もなかったように再開した。

「自分に癌が見つかった時、俺はあろうことが女房のせいにした。お前が、遺産目当てで俺の食事に毒でも盛ってたんだろう。軽い冗談のつもりだったが、女房はその次の日、離婚届を置いて家を出た」

当然だ。自分の癌を人のせいにするなんて、ありえない。そう思ったけれど、もう口に出しては言わなかった。

「外に女を作っては、関係がこじれる度、家に戻って女房の世話になった。いい家を建て、車や宝石を与え、海外旅行に行かせ、女房を満足させていると勘違いしていた。何もかも、自分の思い通りになると思っていた」

こういう考え方を平気でする人に、呆れてしまう。先生って人は、なんておめでたいのだろう。でも、このこともう、口に出しては言わなかった。

「この間、女房に言われた。人の幸せっていうのは、どれだけ周りの人を笑顔にできたかだと思う、と。唯一、俺を最後まで見捨てずにいてくれたのが、女房だったんだと後からわかった」

私はどれだけ、周りの人を笑顔にできたのだろう。

「それでも、俺はその時、悔し紛れに、バカヤロー、と怒鳴り散らすことしかできなかった。すべて凶星だったが、その場で認める訳にはいかなかった。こんな結果になったことを誰かのせいにしなければ、気が済まなかった」

その時の様子の一部を、私は廊下で聞いていたのだ。振り返ると、あの頃から、体が言うことを聞かなくなってきたような気がする。もちろん、先生が元奥さんに対してわめき散らしたことは関係がないけれど。再び、マドンナの声がする。

「女房は、レーズンサンドを持って見舞いにきていた。

俺の大好物のレーズンサンドだ。

でも俺は、^② そんなものはいらない、持って帰れ、と突き返した。

女房は、最後まで一緒にお茶を飲みながらレーズンサンドを食べたかったのかもしれない。

女房には、詫びても詫びきれない。

本当に、すまないことをしたと反省している。

病気になって、俺は本当に生まれて初めて、金では買えないものがあることを知った。それに気づいたら、世の中は金で買えないものばかりだった」

マドンナは、そこまで読み上げると、ふと顔を上げた。それから、厳かな声で言う。

「誰もが、自分の蒔いた種を育て、刈り取って、それを収穫します」

マドンナの言葉を聞きながら、先生が泣いていた。泣いているのを悟られないよう、唇をぎゅっと噛んで泣いている。

国語

「僕は、畑に何も植えていなかったんですね。 ^③ すべては、幻 ^{まぼろし} だったんです」
涙ながらに、先生は告白した。

するとマドンナは、いきなり顔を上げ、うたい始めた。それは、私でも知っている有名な曲だった。途中から、他の人も何人かが声をそろえて歌に加わる。うたい終わると、マドンナは言った。

「ちゃんと、種を蒔いているじゃありませんか。あなたの書いた歌に励 ^{はげ} まされた人が、ごまんといます ^{ほごせんと}。僭越 ^{せんえつ} ながら、私もそのひとりです」

^④ おやつ ^{注4} の間に居合わせた人たちから、拍手 ^{はくしゅ} が起こった。私も、拍手に加わった。今耳にした曲の歌詞が、杭 ^{くい} のように胸の深いところに刻まれている。大体のメロディーは知っていたけれど、サビの部分以外のところもきちんと意識して聞くのは初めてだった。目の前の先生が書いたとは思えないくらい、純朴 ^{じゅんぱく} で可憐 ^{かれん} な内容だった。

「でも」

先生は、顔を歪 ^{ゆが} めて涙 ^{なみだ} を垂らしながら、子どものように泣きじゃくった。

「こんなの、締め切りに追われて、十五分くらいで適当に書いた詞なんです。ヒットしたのは、僕の力じゃないよ」

先生の目から、小石のような涙 ^{なみだ} がぼろぼろこぼれた。

「それは違います」

マドンナは、うつすらと笑みを浮か ^{うか} べながら言った。

「先生、あなたにとって適当でも、それはあなたの才能がそうさせたものです」

先生は、神さまの前で懺悔 ^{ざんげ} するように独白した。

「もう、人生をやり直す時間が、残っていない。傷つけた人に、頭を下げて謝ることもできない。自分を支えてくれた人に、お礼を伝えることもできない」

^⑤ 鋼 ^こ の鎧 ^{よろい} を脱 ^ぬ いだ先生は、しょんぼりとうつむき、ひとまわり、体が縮んだようだった。

「本日のおやつは、レーズンサンドをご用意しました。どうぞ、お召 ^め 上がりください」

マドンナの声が響 ^{ひび} く。レーズンサンドを配るのは、これまで会ったことのない白髪 ^{しろがみ} 交じりの女性だった。もしかすると、先生の元奥さんかもしれない。ひとりひとりにお辞儀 ^{じぎ} をしながら、レーズンサンドを配っている。

先生は、間に合ったのだ。ギリギリだけど、先生は生きているうちに自らの過ちに気づくことができた。そのことに、私は盛大な拍手を送りたかった。

あの時、マドンナが私に何気なく言った言葉。人は生きている限り変わるチャンスがある。あれは、本当だった。私には、全然そんなふうには思えなかったけれど、もしかするとマドンナには、先生が自らの過ちに気づく姿が見えていたのかもしれない。いや、マドンナの中に確固 ^{かくこ} として存在する先生を信じる気持ち ^{かれ} が、彼の心の向きを変えたのかもしれない。

^⑥ 逆転 ^{さかたん} 満塁 ^{まんるい} ホームラン ^{まんらん} じゃなくていいんだよと、私は先生に伝えたくなった。そんなに簡単に、自分の生き方を変えることはできないもの。でも、自分の人生を最後まであきらめずに変えようと努力すること、そのことに大きな意味があるのだと思った。

私も、まさにそうだった。私は、ここに来てようやく変わった。投げやりな気持ちでライオンの家へ来た過去の自分を、今はとても恥ず ^は ずかしく、けれど愛おしくも感じている。

マドンナの言う通りで、人は死の直前まで、変わるチャンスがある。

(小川糸『ライオンのおやつ』)

【語注】

(注1) マドンナ … 「ライオンの家」の代表を務める老婆 ^{らうば}。「ライオンの家」にいる者は、実名ではなく、自分が望む名前前で呼んでもらえるというきまりがある。

(注2) 先生 … 「ライオンの家」の入居者。かつて数々のヒット曲を生み出した、人気作詞家。

(注3) 僭越 ^{せんえつ} ながら … 「出過ぎたことを言いますが」という意味。自分がへりくだることで、相手に敬意を伝える表現。

(注4) おやつの間 … 「おやつ の 時間」に、入居者たちが集まる部屋。

国語

問一 〜〜部 A ～ C の語句の本文中の意味として最もふさわしいものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

A 「青天の霹靂」

ア 良い状態にあったものが急に悪い状態に変わることを。

イ 過去の振舞いの良し悪しに応じた報いを受けること。

ウ 普通は起こらないようなことが立て続けに起こること。

エ いままで予想していなかったことが突然起こること。

オ 神様が与えてくれたちよいどいい機会だということ。

B 「おめでたい」

ア 自分の能力を過信して、疑うことのない様子。

イ あまりに楽観的で、現実が見えていない様子。

ウ 自分のことを心配し、他人に配慮できない様子。

エ 物事が思い通りに進み、うまくいっている様子。

オ たいへん喜ばしく、お祝いをすべきである様子。

C 「凶星」

ア 自分が予想していた通りの内容であること。

イ あまりに適当で見当違いの内容であること。

ウ 正確な分析に基づく内容であるということ。

エ 今まで考えてこなかった内容であること。

オ 肝心な部分を言い当てた内容であること。

問二 ――部①「周りにいた人間が蜘蛛の子を散らすように離れていった」とありますが、どういうことですか。その説明として最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 周りにいた人々は「先生」の癌を自分のせいになされたことに腹を立てて、「先生」と関わらないようになったということ。

イ 周りにいた人々は「先生」の財産が自分のものにならないことに失望して、「先生」に対する興味を失ったということ。

ウ 周りにいた人々は「先生」の能力にしか関心を持っておらず、働けなくなった「先生」を相手にしなくなったということ。

エ 周りにいた人々は「先生」の人柄を内心では嫌っており、病気になる「先生」に仕返しをするようになったということ。

オ 周りにいた人々は「先生」の働きに感謝していたが、重病を患った「先生」への接し方が分からなくなったということ。

問三 ――部②「そんなものはいらない、持って帰れ、と突き返した」とありますが、なぜ「先生」はそうに言ったのですか。五十字以内で説明しなさい。

問四 ――部③「すべては、幻だったんです」とありますが、ここで「先生」はどういうことを言おうとしていますか。その説明として最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「先生」は、作詞家として活躍し富と名声を手に入れたが、周りを笑顔にすることはできていなかったということ。

イ 「先生」は、自分には作詞の才能があると信じていたが、曲がヒットしたのは周りの人のおかげだったということ。

ウ 「先生」は、自分が周りの人たちを笑顔にできたと思っていたが、実際には誰も喜んではいなかったということ。

エ 「先生」は、財産によって全てを手に入れた気になっていたが、それらは病気によって台無しになったということ。

オ 「先生」は、これから人生をやり直したいと考えていたが、病気になったことでその時間がなくなったということ。

問五 ――部④「私も、拍手に加わった」とありますが、なぜですか。六十字以内で説明しなさい。

国語

問六 ―― 部⑤ 「鋼の鎧を脱いだ先生」とありますが、先生のどのような様子を表したのでしょうか。二十字で説明しなさい。

問七 ―― 部⑥ 「逆転満塁ホームランじゃなくていいんだよ」とありますが、どういうことですか。本文全体の内容をふまえて、百字以内でわかりやすく説明しなさい。



250106-10

↓ここにシールを貼ってください↓

受験番号	氏名

※のらんには何も書かないこと。

一																													
問一					問二					問三					問四														
①					A					ような人。					B														
②					C					D					E														
																				問三					問四				
																				問七									
③					④					⑤					※														
100					80					60					40					20									
※																													

二																													
問一					問二					問三					問四														
A					B					C					問二														
②					C					D					E														
																				問三					問四				
																				問七									
③					④					⑤					※														
100					80					60					40					20									
※																													

※